

Edge-core

クイックインストールガイド

ECWO5211-L

エンタープライズアクセスポイント

FCCの注意事項

本装置はテスト済みであり、FCC規則のパート15に基づくクラスBデジタルデバイスの制限に準拠していることが確認されています。これらの制限は、住宅地での設置において、有害な干渉に対する妥当な保護を提供するように設計されています。本装置は、無線周波数エネルギーを生成、使用しており、放射する可能性があり、指示に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置状況で干渉が発生しないという保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合（装置の電源をオフにしてからオンにすることで判断できます）、次の1つ以上の方法で干渉を修正することをお勧めします。

- 受信アンテナの向きや位置を変える。
- 装置と受信機の距離を離す。
- 受信機が接続されているものとは異なる回路のコンセントに装置を接続する。
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談する。

コンプライアンス責任者によって明示的に承認されていない変更または修正を行うと、本装置を操作するユーザーの権限が無効になる場合があります。

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。操作には、次の 2 つの条件が適用されます。(1) 本装置は有害な干渉を引き起こすことはありません、そして、(2) 本装置は、装置の望ましくない動作により引き起こされる干渉を含むすべての受信した干渉を受け入れなければなりません。

本装置とそのアンテナは、他のアンテナまたは送信機と同じ場所に配置したり、一緒に動作させたりしないでください。

米国/カナダ市場で入手可能な製品の場合、チャンネル1から11のみを操作できます。他のチャンネルの選択はできません。

本装置は、5.15~5.25 GHzの周波数範囲で動作する場合、**屋内**での使用に限定されます。

- ※ FCCにより、同じチャンネルのモバイル衛星システムへの有害な干渉の可能性を減らすために、本製品を周波数範囲5.15~5.25 GHzの屋内で使用することが要求されています。

重要な注意事項:

FCCの放射線被ばくに関する声明:

本機器は、制御されていない環境向けに設定されるFCC放射線被ばく制限に準拠しています。本機器は、放射体と人体の間の最小距離**20 cm**以上を維持しながら、設置・操作する必要があります。

CEの注意事項

これにより、Edgecore Networks Corporationは、無線装置タイプECWO5211-Lが指令

2014/53/EUに準拠していることを宣言します。

周波数範囲および送信電力

| 周波数範囲(MHz) | 最大送信電力(dBm) |
|------------|-------------|
| 2412-2472 | 23 dBm |
| 5150-5350 | 23 dBm |
| 5500-5700 | 23 dBm |

| | | | | | | | |
|---|----|----|----|----|----|----|----|
|  | AT | BE | BG | HR | CY | CZ | DK |
| | EE | FI | FR | DE | EL | HU | IE |
| | IT | LV | LT | LU | MT | NL | PL |
| | PT | RO | SK | SI | ES | SE | UK |

本装置は屋内での使用に制限されています。

入力電源

PoE : IEEE802.3afからの電源

動作温度

-40 °C (-40 °F) ~ 65 °C (149 °F)

モデル – ECWO5211-L

本装置は試験され、次の規格の要件に合格しているため、CEマーキング要件内でREDのEMCおよび安全要件を満たしています。

- 無線 : EN 300 328 V2.1.1、EN 301 893 V2.1.1
- EMC : EN 301 489-1 V2.1.1、EN 301 489-17 V3.1.1
- EMC : EN 55032:2015 + AC:2016クラスB、EN 55024:2010 + A1:2015、以下を含む:
EN 61000-4-2、EN 61000-4-3、EN 61000-4-4、
EN 61000-4-5、EN 61000-4-6、EN 61000-4-8、EN 61000-4-11

安全性 : EN 60950-1:2006 + A11:2009 + A1:2010 + A12:2011 + A2:2013

注意

- 本宣言は、Edgecore Networks Corporationによって提供およびサポートされている構成(ソフトウェア、ファームウェア、およびハードウェアの組み合わせ)に対してのみ有効です。Edgecore Networks Corporationによって提供およびサポートされていないソフトウェアまたはファームウェアを使用すると、装置が規制要件に準拠しなくなる可能性があります。
- AT/BE/BG/CZ/DK/EE/FR/DE/IS/IE/IT/EL/ES/CY/LV/LI/LT/LU/HU/MT/NL/NO/PL/PT/RO/SI/SK/TR/FI/SE/CH/UK/HRにおける要件。5150 MHz~5350 MHzは屋内でのみ使用できます。
- 電磁場への曝露に関する推奨事項に確実に準拠するために、本装置は身体から20cm以上の距離で使用する必要があります。

VCCI クラスB

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI - B

序文

Edgecore ECWO5211-L屋外アクセスポイントは、エンタープライズクラスのデュアルラジオ802.11 a/b/g/n + ac Wave 2アクセスポイントで、企業および産業用途向けに最適なパフォーマンスを提供します。2つの2x2 MIMO無線を備えたECWO5211-Lは、2.4および5 GHzバンドでそれぞれ最大300および867 Mbpsのデータレートを同時にサポートできます。ECWO5211-Lは、802.1XやWi-Fi Protected Access (WPAおよびWPA2)など、厳重にセキュリティ保護されたエンタープライズネットワーク環境で必要とされる最新の産業用無線セキュリティ標準に準拠しています。さらに、ECWO5211-Lは、VLANタグ付きの複数のESSIDと複数の仮想APも備えています。異なるESSIDを使用して異なる部門からのトラフィックを分離するなど、企業用途に最適です。

ECWO5211-Lは屋外アクセスポイントとして、さまざまな展開環境向けに壁取り付けとポール取り付けに対応しています。ECWO5211-LのPoEアップリンクポートは、Power over Ethernet (PoE)ソースデバイスから電源を受け取ることができるだけでなく、802.11at標準のPoEもサポートするため、ネットワークの導入がより便利かつ簡単になります。

このクイックインストールガイドでは、Edgecore ECWO5211-Lの使用を開始する手順と参照資料を提供します。

パッケージの内容

1. Edgecore ECWO5211-L x 1
2. クイックインストールガイド(QIG) x 1
3. 金属製ストリップ x 2
4. アンテナ(2.4G) x 2
5. アンテナ(5G) x 2

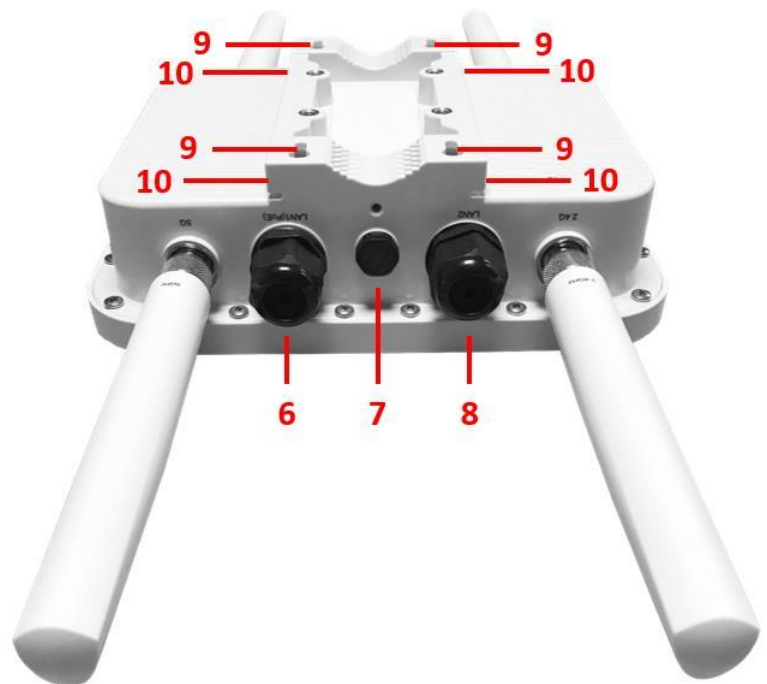


修理や保守が必要になった場合に備えて、元の梱包材を保管しておくことをお勧めします。返送する製品は、配送中の損傷を防ぐために、元の梱包材に梱包する必要があります。

システム概要



ECWO5211-Lの側面



ECWO5211-Lの背面

| | | |
|----|---------------|---|
| 1 | 電源 LED | ECWO5211-Lのステータスを表します。ECWO5211-Lが起動すると、電源LEDが点滅し始めます。起動が完了すると、電源LEDは点灯します。 |
| 2 | LAN1 LED | アップリンクのステータスを表します。LAN1ポートを通過するトラフィックがあると、LAN1 LEDが点灯します。 |
| 3 | LAN2 LED | LANのステータスを表します。LAN2ポートを通過するトラフィックがあると、LAN2 LEDが点灯します。 |
| 4 | 2.4G LED | 2.4G Wi-Fiのステータスを表します。2.4Gトラフィックがあると、2.4G LEDが点滅します。 |
| 5 | 5G LED | 5G Wi-Fiのステータスを表します。5Gトラフィックがあると、5G LEDが点滅します。 |
| 6 | LAN1 (PoE)ポート | アップリンク接続を提供します。このポートは、コントローラー、ゲートウェイ、または直接インターネットに接続するために使用できます。802.3at PoEにも対応しています。 |
| 7 | 換気バルブ | 極端な気象条件により、ECWO5211-L内の水蒸気が結露する場合があります。バルブは換気を可能にし、ECWO5211-L内の湿気の蓄積を防ぎます。 |
| 8 | LAN2ポート | LAN側のデバイスとの接続用のポート。 |
| 9 | 壁取り付け穴 | ECWO5211-Lの吊り下げ用。 |
| 10 | ポール取り付け穴 | ECWO5211-Lの取り付け用。 |

ハードウェアの設置

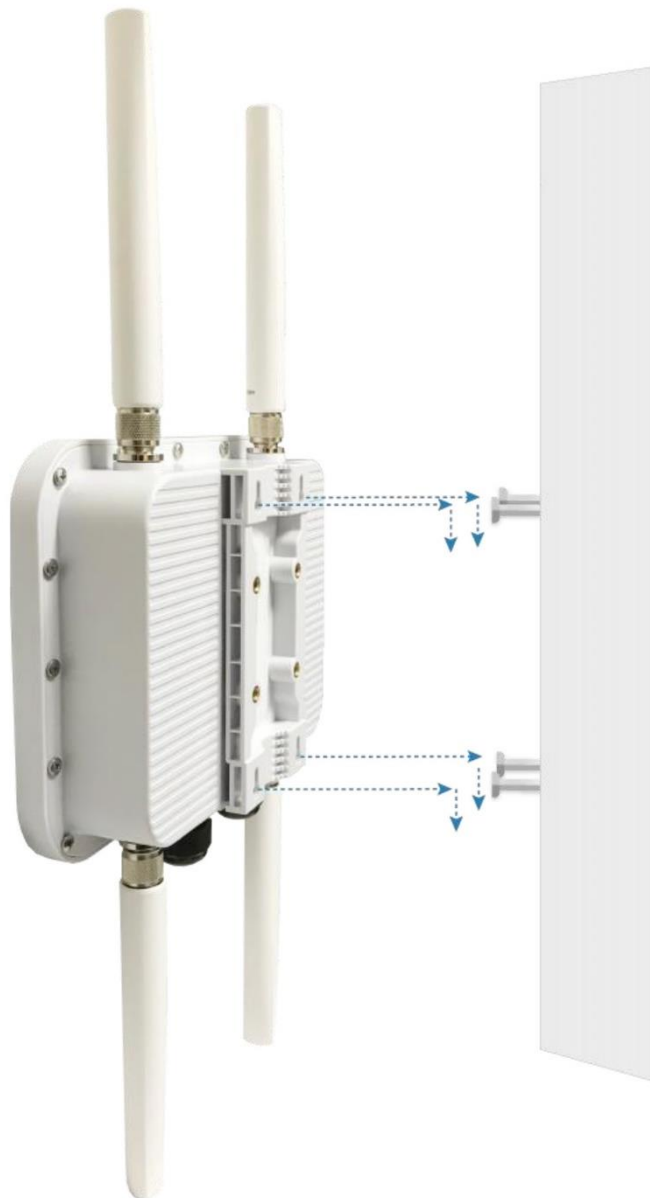
ECW05211-Lのハードウェアを設置する場合は、以下の手順に従ってください:

1. ECW05211-Lを最適な場所に配置します。

ECW05211-Lの最適な場所は、通常、目的の無線ネットワークの中心です。

壁取り付け

1. 壁にネジを固定してください。
2. ECW05211-Lをポール取り付け穴を使って、壁に吊り下げてください。



ポール取り付け

1. 金属製ストリップをポール取り付けギャップに挿入してください。
2. 金属製ストリップの2つの端を結合し、ポールの周りにぴったりと合うように長さを調整してください。



2. ECWO5211-Lをネットワークデバイスに接続してください。

イーサネットケーブルの一方の端をECWO5211-LのLAN1 (PoE) ポートに接続し、もう一方の端をスイッチ、ルーター、またはハブに接続してください。ECWO5211-Lは、既存の有線LANネットワークに接続されます。

3. ECWO5211-Lの電源を入れてください。

ECWO5211-L LAN1 (PoE) ポートは、DC電流を受電できます。IEEE 802.3at準拠のPSEデバイス (PoEスイッチなど) をイーサネットケーブルでECWO5211-LのLAN1 (PoE) ポートに接続してください。

これでハードウェアの設置は完了です。



ECWO5211-Lとスイッチ/ルーター/ハブ間の有線接続を確認するには、それぞれのネットワークデバイスのLEDインジケータも確認してください。

はじめに

Edgecore ECWO5211-Lは、Webベースの構成に対応しています。ハードウェアの設置を完了すると、Mozilla Firefox 2.0またはInternet Explorerバージョン6.0以降などのWebブラウザを使用して、PCからアクセスポイントを構成できます。

ECWO5211-LのLAN IPアドレスとサブネットマスクのデフォルト値は次のとおりです：

| | |
|----------|---------------|
| IPアドレス | 192.168.1.10 |
| サブネットマスク | 255.255.255.0 |

ステップ：

1. Web管理インターフェイスにアクセスする場合は、管理者のPCをECWO5211-LのLANポートにイーサネットケーブルで接続してください。次に、次の例のように、PCのTCP/IPでECWO5211-Lと同じサブネットマスクに静的IPアドレスを設定してください。

IPアドレス: 192.168.1.100

サブネットマスク: 255.255.255.0

2. PCのWebブラウザを起動し、アドレスフィールドにECWO5211-LのIPアドレス (<http://192.168.1.10>)を入力して、**Enter**キーを押してください。



Webブラウザを経由してECWO5211-LのデフォルトIPアドレスを入力する例

3. 次の[Admin Login(管理者ログイン)]ページが表示されます。[Username(ユーザー名)]と[Password (パスワード)]の両方のフィールドに「admin」と入力し、[Login(ログイン)]をクリックしてください。



[Admin Login(管理者ログイン)]ページ

4. ECWO5211-LのWebユーザーインターフェイス(Web UI)に正常にログインすると、以下に示すように、Web管理インターフェイスの[System Overview(システム概要)]ページが表示されます。

Home > Status > System Overview

System Overview

System

| | |
|------------------|--|
| System Name | ECWO5211-L |
| Firmware Version | 3.43.00 |
| Build Number | 1.6-1.9328 |
| Location | |
| Site | EN-A |
| Device Time | 2000/01/01 00:19:47 |
| System Up Time | 0 days, 0:20:45 |
| CPU/RAM Usage | 2.01% / 38.80% <input type="button" value="Plot"/> |

Radio Status

| RF Card | MAC Address | Band | Channel | TX Power |
|-----------|-------------------|-----------|---------|----------|
| RF Card A | 00:1F:D4:19:B5:64 | 802.11g+n | 11 | 12 dBm |
| RF Card B | 00:1F:D4:19:B5:65 | 802.11ac | 36 | 11 dBm |

LAN Interface

| | |
|-------------|-------------------|
| MAC Address | 00:1F:D4:19:B5:62 |
| IP Address | 10.71.207.38 |
| Subnet Mask | 255.255.0.0 |
| Gateway | 10.71.1.254 |

AP Status

RF Card Name :

| Profile Name | BSSID | ESSID | Security Type | Online Clients | TUN |
|--------------|-------------------|---------------|---------------|----------------|--------------------------|
| VAP-1 | 00:1F:D4:19:B5:64 | 4ipnetAP-A1 | Open | 0 | <input type="checkbox"/> |
| VAP-8 | 62:1F:D4:19:B5:64 | EAP738_BStest | Open | 0 | <input type="checkbox"/> |

CAPWAP

Status

IPv6

Status

Web管理インターフェイス - [System Overview(システム概要)]ページ

完了です！

これで、Edgecore ECWO5211-Lが正常に設置および構成されました。



ECWO5211-Lのネットワーク構成が完了したら、PCが実際のネットワーク環境で適切に機能するように、PC接続プロパティのIPアドレスを元の設定に必ず変更してください。

- 構成設定のバックアップコピーを作成することを強くお勧めします。
- 構成およびバックアップの詳細については、ユーザーマニュアルを参照してください。

P/N:V34520200703